



昨年の10・8全国集会後の成田ニュータウンを縦断するデモ行進

来る10月13日、正午より成田市赤坂公園で全国総決起集会を開催します。

岸田首相は8月26日、「国家プロジェクトとして成田空港を中核とした国際物流拠点建設を加速させる」と関係省庁に支援策をまとめるよう指示しました。滑走路を延伸・新設し、大型の貨

物機を深夜早朝にどンドン飛ばすことを狙う機能強化は、騒音下住民の命と健康をないがしろにし、成田を大軍事基地へと変貌(へんぼう)させるものに他なりません。成田市天神峰の市東孝雄さんの農地強奪阻止、空港拡張絶対反対の声を共に上げましょう。

市東さんの南台農地を守ろう!

耕作権裁判 & 千葉地裁包囲デモ

◎9月30日(月) 正午 千葉市中央公園集合
→千葉市内をデモ
午後1時30分開廷 地裁601号法廷 最終弁論

三里塚全国総決起集会

◎10月13日(日) 正午~集会
午後2時30~成田市街地をデモ
会場 成田市赤坂公園芝生広場
主催 三里塚芝山連合空港反対同盟

大型の貨物機・爆撃機を飛ばすな！ 成田空港拡張反対署名にご協力を！

私たちが呼びかける「成田空港の拡張に反対する署名」へのご協力をよろしくをお願いします。

成田空港会社（NAA）は、年間発着枠50万回化に向けた「成田空港の更なる機能強化（第3滑走路建設、B滑走路の1千㍍延伸、早朝5時～深夜1時までの運用）」を2028年度中にも完成させるとして、準備工事を始めています。さらに、「『新しい成田空港』構想」（ターミナルの統合、新貨物地区新設、交通アクセス再編）、空港と周辺9市町を一体化させる「エアポートシティ」の推進に向けて突き進んでいます。

岸田首相は国家プロジェクトとして成田空港を国際航空貨物拠点するとして、空港敷地外の農地の倉庫への転用や貨物業務での特定技能外国人の活用などの規制緩和を指示しています。住民を追い出し、騒音被害などおこまいなしに、大型の貨物機を早朝から深夜まで飛ばすための成田拡張を許すわけにはいきません。

●軍事利用のための滑走路延伸

岸田政権はアメリカと共に中国への戦争を準備し、沖縄・南西諸島への自衛隊配備・ミサイル基地設置など軍事要塞化を進めています。さらに、自衛隊・米軍の戦闘機・軍艦を民間の空港・港湾で使用できるようにするために「特定利用空港・港湾」を指定し、滑走路の延伸工事、護岸工事を進めてい

成田空港拡張反対署名

▶千葉県裁民事第3部・岡山忠広裁判長

成田空港の拡張に反対します

成田空港会社は、発着枠50万回化に向けた「成田空港の更なる機能強化（第3滑走路建設、B滑走路の1千㍍延伸、早朝5時～深夜1時までの運用時間延長）」を2028年度中に完成させるとしています。

敷地面積を2倍にし、南北12㍍もの巨大空港建設で森林・水系は破壊され、膨大な田畑・動植物のすみかが奪われます。深夜早朝の飛行時間延長は騒音で住民の命と健康を脅かします。また、工事や発着枠拡大に伴うCO2の大量排出は気候危機を促進します。

さらに、浜田靖一防衛大臣は「民間施設の平時からの軍事利用を進める」として、沖縄の下地島空港と並んで成田空港を名指ししました。成田の軍事利用、戦争のための空港拡張は絶対に認められません。

成田空港機能強化に伴う国の施設変更許可の無効確認と、滑走路建設など一切の工事差し止めを求めます。

名 前	住 所

（署名の送付先）三重県志摩市成田空港反対同盟 〒286-0102 成田市天神崎53 市東方

ます。政府は8月26日、熊本空港・鹿児島空港など12カ所を新たに追加しました。（計28カ所）

成田では機能強化で国内最長の4千㍍滑走路に加え、大型の貨物機、B52爆撃機の離着陸が可能な3500㍍滑走路2本が整備されようとしています。

国内最大の空港として戦争の際には自衛隊・米軍の軍事物資や兵隊を運ぶ兵站（へいたん）拠点・出撃拠点となることは火を見るよりも明らかです。

住民の命と暮らしと真っ向から対立する「機能強化」「『新しい成田空港』構想」に絶対反対の声を上げましょう。

あらためて空港拡張反対署名へのご協力をよろしくをお願いします。

「さようなら原発全国集会」に5千人

「さようなら原発全国集会」が9月16日、東京・代々木公園で開催され、労働者市民ら約5000人が集まりました。

福島第一原発の汚染水海洋放出、原発再稼働・新設、使用済核燃料の搬出入を強行する岸田政権への怒りがあふれる集会となりました。

私たちの仲間も合流し、成田空港拡張反対署名への協力を呼びかけました（写真）。集会後には、渋谷方面と原宿方面とに分かれてデモ行進。沿道の人に全原発廃炉を訴えました。



旭硝子支会（韓国・民主労総 金属労働組合）と天神峰で交流

旭硝子（現AGC）の下請け非正規労働者が2015年に旭非正規職支会を結成。そのわずか1カ月後に1通のメールで全員解雇されます。そこから旭支会の労働者は法廷での争いと一体で、市庁舎前での籠城（ろうじょう）、検察庁ロビー占拠、27日間の高空断食籠城などの実力闘争を展開。弾圧に屈することなく9年におよぶ闘いを経て、今年ついに大法院（韓国の最高裁）での解雇撤回・正規職雇用の勝利判決をかちとり、8月1日に職場復帰しました。

8月30日に東京で行われた旭闘争勝利集会のために来日した旭硝子支会のチャホノ支会長（右）とオスイル首席副支会長（右から2人目）が翌31日、天神峰を訪れ、交流しました。（写真）

チャホノ支会長は、「国家権力との闘いは一企業との闘いよりも大変です。私たちはサード（弾道ミサイル迎撃シ



ステム）配備反対の闘いと連帯していますが、三里塚の農民も国家暴力と闘い負けていない。そのことを知り胸が踊りました。ぜひ訪問したいと思っていました」と思いを語りました。

「連帯し、あきらめずに闘えば勝てる」「ここでやめるわけにはいかない」「お互いがんばろう」…国境を越えた労農連帯のきずなを深めました。

地域住民の声

今回は、「空港ができてよかったと思うことは何一つなかった」と語る横芝光町の農家の声を紹介します。

◆機能強化反対は町民の総意。利権を得る一部の人のために犠牲を強いられるのはごめんだ。

横芝光町 男性

結婚した翌年1978年に成田空港が開港して頭上を飛行機が飛ぶようになり騒音に悩まされる毎が始まりました。40歳の時に務めていた会社をやめて家業の農業経営を引き継ぎ専業農業者となりました。素人がやる農業は失敗することも多く、収入を失い経済的に苦しい時期を3人の子どもを育てながら妻と必死に生きてきました。生活するのにいっばいな私にとって成田空港に離着陸する飛行機の騒音は非常に腹立たしことでしたが、それに反対する術を持ちませんでした。騒音と畑の行きかえりにも機動隊の検問で止められるいらだたしい毎を送る一方、空港ができてよかったと思うことは何一つない生活を送るよりほかありませんでした。

騒音でイライラする生活をする毎日を38年間過ごした2016年、突如としてそれまでの倍以上の年間50万回の発着を目指すという「空港機能強化策」が発表され住民説明会が始まりました。

1990年当時の江藤隆美運輸大臣が現地に出向き反対する農民に謝罪して、「共生・共栄のテーブル」作りが始まりました。その時の約束に飛行時間は今後も午前6時から午後11時までとすることが入っており、今まで「非常に重い約束」とされてきました。

それにもかかわらず、横芝光町の住民に知らせることなく決められ突如持ち上がってきた「空港機能強化策」で約束をいっぺんで反故にされ、カーフェューを含めると午前5時から深夜の1時まで飛行を可能にするとされました。

住民説明会では、お一人だけ、「八街のようになってはいけないから賛成」と言われましたが、それ以外の全員が夜間飛行延長に反対、機能強化に反対の発言をなさいました。この声が横芝光町町民の総意と言うことができます。

機能強化策は国の経済発展のためには必要不可欠だと国・NAAは言うのですが、この巨大プロジェクトで莫大な利権を得る人たちはおるでしょう。しかし一方、そのために私たちが人柱になり犠牲を払い続けなければならないのかまったく分かりません。私たちは日本国憲法で人権、安穏な生活権を保障される日本国民ではなく、犠牲にされるのは当たり前だといえるのでしょうか。日本国民だというなら、私たちの人権、生活権に配慮していただくのが当たり前ではないのでしょうか。

NAAは「ご迷惑おかけして誠に申し訳ございません」と常套句のように言います。ご迷惑おかけしてると言うなら迷惑をかけないようにするのが当たり前だと思いますが、NAAからその先は納得できるものは何もありません。